

柔道整復科

特別ゼミ

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	有山敦士、小西裕司、青木伊之、宮本功三、後藤晃弘、杉本知	実務経験	有	職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)						

授業概要

柔道整復師国家試験合格のための特別講座を実施します。

到達目標

国家試験科目は柔道整復師法施行規則第10条により解剖学、生理学、運動学、病理学概論、衛生学・公衆衛生学、一般臨床医学、外科学概論、整形外科学、リハビリテーション医学、柔道整復理論ならびに関係法規と定めている。骨折・脱臼・軟部組織損傷とそれに必要な運動器（骨・筋・関節・靭帯等）ならびに医療従事者に必要な知識を含めた全11科目（250問）について3年間習得した知識を総括することが目標である。

授業方法

国家試験受験の約1か月前から実施をする。全科目について過去の出題傾向から分析した授業を行う。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

国家試験受験ならびに卒業を間近に控えた医療人としての集中力を求める時間となることから、講義中の私語などについては厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位の履修ができない。

教科書教材

解剖学柔道整復学理論編

回数	授業計画
第1回	頭部の骨・筋について
第2回	体幹の骨・筋について
第3回	上肢の骨・筋について

第4回	下肢の骨・筋について
第5回	骨折の総論について
第6回	脱臼の総論について
第7回	軟部組織損傷の総論について
第8回	上肢の骨折について
第9回	下肢の骨折について
第10回	上肢の脱臼について
第11回	下肢の脱臼について
第12回	上肢の軟部組織損傷について
第13回	下肢の軟部組織損傷について
第14回	医療倫理・保険制度について
第15回	関係法規について